

## 京丹後市教育振興計画 施策評価・進捗管理調書(内部評価結果)

担当課	担当課長
文化財保護課	吉田 誠

重点目標	6 歴史文化を活用し、郷土への愛着と誇りを育みます
基本的方針	学校・地域の連携により、京丹後市の歴史・文化等を学ぶ「丹後学」を進めるなど、子どもたちのふるさとへの愛着と誇りを育みます。また、市内の豊富な歴史文化資源の保護・活用に取り組み、資料館施設の整備充実と併せて、歴史文化について深い理解と関心を持つ人材の育成・活用を進めます。

### 1. 施策の方向性 PLAN

1. 豊かな歴史文化等を学習する機会の充実	<p>①京丹後市の歴史・文化・自然等を活用した学習を充実するため、小中一貫教育の導入にあわせ、「丹後学」を積極的に展開します。特に、ジオパークに認定された地質遺産を活用したフィールド学習を、小学生を対象に実施します。</p> <p>②子どもたちが地域の人々の仕事や生き方にふれることは、地域を再発見することにつながります。学校支援ボランティアや丹後の歴史に精通した京丹後史博士等を活用し、地域の人々が学校園の教育活動を積極的に支援する体制を拡充します。</p> <p>③文化財セミナーや京丹後史博士育成講座等、市民を対象とした歴史・文化の学習機会を充実します。また、京丹後史博士等の人材活用を図ります。</p>
2. 文化財の保護と活用	<p>①市内の貴重な歴史・文化等を保護し後世に伝えるため、文化財の管理や建造物等の修繕、郷土芸能の道具の更新等を通して文化財の保全を図ります。</p> <p>②京丹後市史編さん事業での調査成果や刊行物を基に、郷土の文化財を活用し市内外の人々の理解を深める活動を進め、地域づくりに活かします。</p> <p>③京丹後市デジタルミュージアム、文化財ライブラリーなどインターネット環境を活用して、丹後の優れた文化財、調査成果について発信していきます。</p> <p>④古代丹後を代表する網野銚子山古墳、赤坂今井墳墓等の史跡を整備し、活用することで郷土への誇りと愛着を培い、併せて古代丹後の輝かしい資産を観光資源としても活用します。</p>
3. 資料館施設の整備充実	<p>①市内の資料館施設で郷土の歴史や文化財の展示会を開催し、市民や市外の人々に、巨大古墳に象徴される古代丹後の輝かしい歴史や、それ以降の丹後の歴史、文化財や鳴き砂、ジオパーク等について理解してもらうための普及啓発を図ります。</p> <p>②児童生徒を対象とした社会科学習、郷土学習を進めます。</p> <p>③郷土の歴史や文化財の調査を進め、貴重な資料を保管し後世に伝えます。</p> <p>④資料館施設の整備充実を図り、市内外の人々が歴史や地域の文化財への関心を高める活動を推進します。</p>

#### 【参考】施策に関連するその他の計画

計画名称	計画概要	策定年月	計画期間	備考
第2次京丹後市総合計画	市の目指す基本理念、目標、将来像などを示した「基本構想」と、その構想を実現するための各種施策を総合的、計画的に体系化した「基本計画」	平成27年3月	平成27年度～平成36年度	
京丹後市文化財マスタープラン	市内に所在する多岐にわたる文化財を適切に保護し、その中から特に学術的に重要で、まちづくりの観点からも価値が高いと判断される史跡等文化財に対して、保存及び活用整備をすすめるための方向性を示すもの	平成18年10月	計画期間の定めなし	
国史跡網野銚子山古墳整備基本計画	「丹後王国」を代表する国史跡網野銚子山古墳に関して、京丹後市史跡整備検討委員会を組織して専門的な立場、地元の立場からの検討を加えて基本計画を策定した	平成23年3月	当面の計画として概ね6年間	当面整備計画として概ね6年の計画も策定

### 2. 主な取組と構成事務事業一覧

PLAN
DO

※各事業の評価・課題については、別紙決算附属資料参照

CHECK
ACT

1. 豊かな歴史文化等を学習する機会の充実	決算額(単位:千円)			事務の改善
主な取り組み	H28決算額	H29決算額	H30予算額	評価を踏まえた今後の方向性
↓ 事務事業名称・事業内容(実績)				担当課
<p>① 京丹後市の歴史・文化・自然等を活用した学習を充実するため、小中一貫教育の導入にあわせ、「丹後学」を積極的に展開します。特に、ジオパークに認定された地質遺産を活用したフィールド学習を、小学生を対象に実施します。</p> <p>② 子どもたちが地域の人々の仕事や生き方にふれることは、地域を再発見することにつながります。学校支援ボランティアや丹後の歴史に精通した京丹後史博士等を活用し、地域の人々が学校園の教育活動を積極的に支援する体制を拡充します。</p> <p>③ 文化財セミナーや京丹後史博士育成講座等、市民を対象とした歴史・文化の学習機会を充実します。また、京丹後史博士等の人材活用を図ります。</p>				
<p>1 文化財保護啓発事業</p> <p>市内に数多く残されている文化財や調査成果などを市民などに公開することで郷土の歴史や文化財について学ぶことのできる機会を提供し、その認識を高める。</p>	1,076	885	-	現状維持

2. 文化財の保護と活用		決算額(単位:千円)			事務の改善
主な取り組み		H28決算額	H29決算額	H30予算額	評価を踏まえた今後の方向性
↓	事務事業名称・事業内容(実績) 担当課				
<p>① 市内の貴重な歴史・文化等を保護し後世に伝えるため、文化財の管理や建造物等の修繕、郷土芸能の道具の更新等を通して文化財の保全を図ります。</p> <p>② 京丹後市史編さん事業での調査成果や刊行物を基に、郷土の文化財を活用し市内外の人々の理解を深める活動を進め、地域づくりに活かします。</p> <p>③ 京丹後市デジタルミュージアム、文化財ライブラリーなどインターネット環境を活用して、丹後の優れた文化財、調査成果について発信していきます。</p> <p>④ 古代丹後を代表する網野銚子山古墳、赤坂今井墳墓等の史跡を整備し、活用することで郷土への誇りと愛着を培い、併せて古代丹後の輝かしい資産を観光資源としても活用します。</p>					
2 市指定文化財等補助金 文化財保護課		2,500	2,500	2,000	現状維持
文化財の修理などの保全事業に対して補助金を交付することにより、貴重な文化財を守り次世代に引き継ぐ。					
3 史跡等維持管理事業 文化財保護課		3,319	1,409	1,237	現状維持
指定文化財やそれに関連する施設の草刈りや補修等の維持管理を行うことにより、文化財の適切な管理と活用を図る。					
4 遺跡整備事業 文化財保護課		17,854	11,371	53,615	現状維持
丹後の特色と歴史を物語る重要な文化財の環境整備を推進し、教育・観光・地域づくりの資源などへ有効に活用する。					
5 遺跡発掘調査等事業 文化財保護課		2,170	3,501	3,792	拡大
発掘調査等により、市内の遺跡を効果的に保護するための資料を得るとともに、開発等により現地保存の困難な遺跡の記録保存を図り文化財の保護・活用につなげる。					
3. 資料館施設の整備充実		決算額(単位:千円)			事務の改善
主な取り組み		H28決算額	H29決算額	H30予算額	評価を踏まえた今後の方向性
↓	事務事業名称・事業内容(実績) 担当課				
<p>① 市内の資料館施設で郷土の歴史や文化財の展示会を開催し、市民や市外の人々に、巨大古墳に象徴される古代丹後の輝かしい歴史や、それ以降の丹後の歴史、文化財や鳴き砂、ジオパーク等について理解してもらうための普及啓発を図ります。</p> <p>② 児童生徒を対象とした社会科学習、郷土学習を進めます。</p> <p>③ 郷土の歴史や文化財の調査を進め、貴重な資料を保管し後世に伝えます。</p> <p>④ 資料館施設の整備充実を図り、市内外の人々が歴史や地域の文化財への関心を高める活動を推進します。</p>					
6 郷土資料館管理運営事業 文化財保護課		1,769	9,701	7,606	改善・効率化
民俗資料の調査保存、公開施設である資料館の維持管理を行い、郷土の歴史や文化遺産に対する住民の関心を高める。					
7 古代の里資料館管理運営事業 文化財保護課		10,567	8,736	9,475	現状維持
郷土の文化遺産に関しての住民の関心を高め、教育、文化にふれあい、歴史を学ぶ機会を提供する。					
8 指定管理施設運営事業 文化財保護課		8,345	8,346	8,346	現状維持
琴引浜鳴き砂文化館の適正な管理運営を行い、琴引浜の鳴き砂の保全及び保護啓発活動、自然環境学習の援助並びに促進を図る。					
上記の「主な取り組み」への位置付けが困難な事業		決算額(単位:千円)			事務の改善
事務事業名称・事業内容(実績) 担当課		H28決算額	H29決算額	H30予算額	評価を踏まえた今後の方向性
↓					
9 文化財保護審議会委員設置事業 文化財保護課		263	219	218	縮小
文化財の指定解除等の諮問機関である文化財保護審議会で、文化財の保全及び活用について調査・審議を行うことで、市の文化財の保全や活用に資する。					
10 文化財保護一般経費 文化財保護課		651	345	325	改善・効率化
文化財保管施設の維持管理及び各種文化財保護関係団体の活動を推進し、文化財の保護と活用を図る。					
計		48,514	47,013	86,614	

3. 教育振興計画で掲げている主な目標指標

基本的方針	学校・地域の連携により、京丹後市の歴史・文化等を学ぶ「丹後学」を進めるなど、子どもたちのふるさとへの愛着と誇りを育みます。また、市内の豊富な歴史文化資源の保護・活用に取り組み、資料館施設の整備充実と併せて、歴史文化について深い理解と関心を持つ人材の育成・活用を進めます。					
主な目標指標	目標指標	単位	計画作成時 年度	実績値(現状) 年度	目標値 年度	
	文化財セミナー、京丹後史博士講座等の文化財事業参加者数	人	1,468 (5事業、17講座) H25	1,177 H29	1,700 H36	
	資料館、文化館入館者数	人	13,808 (3施設) H25	14,920 H29	15,000 H36	
	史跡整備	遺跡	6 H25	7 H29	8 H36	

4. 施策の進捗状況の評価と今後の課題[基本的方針の達成に向け、施策がどの程度進捗しているか]

**CHECK** **ACT**

進捗状況区分	評価	29年度成果と今後の課題
◎ 予定以上に進んでいる	○	<p>《文化財セミナー、京丹後史博士講座等の文化財事業参加者数》 文化財セミナー、京丹後史博士講座、鳴き砂サミット、丹後震災記念展、網野銚子山古墳現地説明会等を開催し延べ454人が参加した。29年度は文化財保護課として他機関、団体の歴史講座を担当し講師を務める事業が増加し、京丹後市の文化財歴史事業の普及に努めた。参加者数延723人である。 今後の課題としてシンポジウムや文化財の現地見学等の魅力ある事業を実施する必要がある。</p> <p>《資料館、文化館入館者数》 網野郷土資料館の旧郷小学校への移転作業のために7月末で休館したために網野郷土資料館の入館者は減少した。尚小学校3年生の社会科学習については旧郷小学校で実施した。琴引浜鳴き砂文化館の各種事業、広報活動により28年度より入館者は増加した。 (網野郷土資料館285名、丹後古代の里資料館2,930名、琴引浜鳴き砂文化館11,705名) 郷土資料館、丹後古代の里資料館の特別展示、企画展示の開催と入館者数の増加が課題である。</p> <p>《史跡整備》 文化財マスタープランにより市内主要遺跡等の現状、整備等について検討し整備方針を定めた。整備済の史跡を下記の6史跡とし、今後、早期に整備すべき史跡として、網野銚子山古墳、赤坂今居墳墓、函石浜遺跡、湧田山古墳を定めた。 整備済の史跡 ①郷村断層、②湯舟坂2号墳、③高山12号墳、④復元岡1号墳、⑤離湖古墳、⑥浜詰遺跡、⑦網野銚子山古墳 現在、網野銚子山古墳の整備実施中、32年度完成予定。</p>
○ 予定どおり進んでいる		
▲ 少し遅れている		
× 大幅に遅れている		

5. 今後の施策展開の考え方(平成30～32年度までの主な取組)

**ACT**

区分	No.	具体的内容
施策展開の考え方	1	文化財セミナー等の講演会、資料館施設での様々な歴史、文化財展示を開催し学習する機会の充実を図る。
	2	史跡整備事業の中で網野銚子山古墳の整備は、工事の実施設計、墳丘工事、圍路工事、進入道路、駐車場等の整備を実施して地元市民、観光客に日本海側最大の丹後の王の古墳を見学してもらい活用する。
	3	網野郷土資料館の老朽化に伴い旧郷小学校へ民俗資料の移転統合した。今後、各施設において保管している民俗資料、考古資料を整理して集中管理する。

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	02文化財保護啓発事業	決算書	P.152
細事業名	01文化財保護啓発事業					
総合計画	計画項目	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進				
決算	① 最終予算額	② 不用額	③-① 執行率	(参考)当初予算額		
	885千円	979千円	94千円	90.3%	1,156千円	
目的	市内に数多く残されている文化財や調査成果などを市民などに公開することで郷土の歴史や文化財について学ぶことのできる機会を提供し、その認識を高める。					
主要な事務・事業の概要	<p>市民及び来訪者のために「京丹後市史」や文化財の調査成果を周知する講座（文化財セミナー・京丹後史博士育成講座）、丹後古代の里資料館を用いた企画展示等を開催した。また、丹後・東海地方の文化交流調査事業は、調査事業の成果をまとめた報告書を作成した。</p> <p>○文化財セミナー 講師（2人）謝金・費用弁償 参加者 第1回（6月17日）60人、第2回（11月24日）35人 119千円</p> <p>○丹後古代の里資料館企画展示 ポスター・図録作成、事務経費等 244千円 「300年を紡ぐ絹が織り成す丹後ちりめん回廊」日本遺産認定企画展示 「丹後ちりめんと葦山藩」（5月13日～7月9日）781人 京都市暫定登録文化財登録記念特別公開 「平八幡神社の絵巻」（8月24日～9月20日）236人 平成29年度特別展示 「大宮亮神社～古代祭祀とその後～の展開」（9月23日～2月18日）924人 「震災から立ち上がったまち」（2月24日～4月15日）654人</p> <p>○丹後・東海地方の文化交流調査事業 調査事業原稿作成謝金（調査者4人） 522千円 『丹後・東海地方のこぼれ文化』第2集 印刷製本費（1,000部） 422千円</p>					
主な財源	諸収入 京丹後史博士育成講座資料代				11千円	
成果・課題	○文化財セミナーでは、『京丹後市史』の内容を市民により深く理解いただく機会を提供できた。また、市ケーブルテレビの特集番組の放映により市民に広く情報提供することができた。 ○丹後・東海地方の文化交流調査事業は、これまでの調査成果をまとめた報告書を作成し、事業を完了できた。					
所管課	教育委員会事務局/文化財保護課					

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	03指定文化財等管理事業	決算書	P.152
細事業名	01市指定文化財等補助金					
総合計画	計画項目	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進				
決算	① 最終予算額	② 不用額	③-① 執行率	(参考)当初予算額		
	2,500千円	2,500千円	0千円	100.0%	2,500千円	
目的	文化財の修理などの保全事業に対して補助金を交付することにより、貴重な文化財を守り次世代に引き継ぐ。					
主要な事務・事業の概要	<p>○京丹後市指定文化財等補助金 26件 2,500千円 (内訳)</p> <p>・国、府指定・登録文化財補助金該当分 4件 298千円</p> <p>・京都府社寺等文化資料保全補助金該当分 22件 2,202千円 (京丹後市指定文化財及び未指定文化財のうち補助要件を満たすもの)</p> <p>事業対象は神社・寺院建物の修理、覆屋の修理、危険木の伐採、郷土芸能の道具の修理・新調、絵画の修理などで、事業費の総額は、35,328千円であった。</p> <p>※参考 平成28年度事業実績 補助件数 20件 補助金額 2,500千円 事業総額 53,554千円</p>					
主な財源						
成果・課題	市内に数多く残る文化財の保全のために、修理等への補助金を交付することにより、文化財所有等々の負担軽減と貴重な文化財の保全を図ることができた。					
所管課	教育委員会事務局/文化財保護課					

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	03指定文化財等管理事業	決算書	P.152
細事業名	02 史跡等維持管理事業					
総合計画	計画項目	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進				
決算額	① 最終予算額	② 不用額	③-① 執行率	(参考)当初予算額		
1,409千円	1,421千円	12千円	99.1%	1,108千円		
目的	指定文化財やそれに関連する施設の草刈りや補修等の維持管理を行うことにより、文化財の適切な管理と活用を図る。					
主要な事務・事業の概要	<p>○コウノトリモニタリング事業報酬費 116千円 天然記念物のコウノトリが市内で営巣・産卵したため、監視員を置き観察・記録することにも業周辺の立ち入り制限などの保護活動を行った。 (延々16.5日、16.5人)</p> <p>○史跡等草刈委託・文化財施設環境美化委託料 903千円 史跡等用地の草刈、清掃により文化財見学の利用供与や、維持管理を行った。 神明山古墳、函石浜遺跡、赤坂今井墳墓、産土山古墳、湯舟坂2号墳、竹野神社など15件</p> <p>○指定文化財関連施設管理経費 50千円 郷村断層、丹後震災記念館等の指定文化財施設の維持経費 25千円 火災保険料(旧口大野村役場、郷村断層施設、浜詰遺跡施設) 25千円</p> <p>○京丹後市指定文化財看板等設置事業(土地借上、修繕費) 124千円 国・府指定文化財の看板2基(函石浜遺跡、湯舟坂2号墳)の修繕を行った。 また従前から設置している看板(比沼麻奈為神社案内、月の輪田・清水戸案内、鳴き砂案内)の土地借上料を支出した。</p> <p>○京丹後市指定文化財施設修繕事業(修繕費) 216千円 市指定文化財である峰山陣屋跡エノキの災害による倒木が原因で傷んだ峰山1区会館前のフェンスの修繕を行った。</p>					
主な財源	国 宝重要文化財等保存整備補助金(1/2)					
成果・課題	○史跡や周辺施設等の環境整備を行うことにより、文化財の保全が図られ、文化財見学の利用促進につながった。 ○指定文化財の案内看板等に未整備のものがあるため、整備を行い、来訪者の利便性向上と文化財の保護啓発を図る必要がある。					
所管課	教育委員会事務局/文化財保護課					

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	05遺跡整備事業	決算書	P.152
細事業名	01 遺跡整備事業					
総合計画	計画項目	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進				
決算額	① 最終予算額	② 不用額	③-① 執行率	(参考)当初予算額		
11,371千円	11,567千円	196千円	98.3%	11,567千円		
目的	丹後の特色と歴史を物語る重要な文化財の環境整備を推進し、教育・観光・地域づくりの資源などへ有効に活用する。					
主要な事務・事業の概要	<p>○国史跡網野銚子山古墳について、平成23年に策定した「網野銚子山古墳整備基本計画」に基づき史跡の保存を図るべく、史跡整備検討委員会を3回開催した。検討委員会の指導を受け、実施設計に必要な基礎資料を得るための発掘調査を実施し、「網野銚子山古墳環境整備基本設計」を策定した。 網野銚子山古墳の環境整備として、墳丘に自生する樹木の一部の整理伐採工事及び周囲部分の廃小屋解体撤去工事を実施した。</p> <p>○網野銚子山古墳整備事業費 11,371千円 ・報酬 112千円 (半日×3回、4,000円×28人) 発掘調査補助員に関する労災保険料 4千円 発掘調査補助員賃金 1,263千円 整備に関する専門委員及び関係者協議旅費 171千円 調査関連の消耗品、発電機ガソリン代ほか 197千円 発掘調査測量機材修繕料 65千円 簡易トイレ1尿汲取料 2千円 草刈委託料 719千円 発掘調査作業員・整理員人材派遣委託料 1,822千円 発掘調査写真撮影・遺構図化等委託料 1,059千円 環境整備基本設計、伐採工事監理委託料 3,254千円 ・使用料及び賃借料 関係者協議に関する有料道路通行料 9千円 発掘調査に係る重機、簡易トイレ等借上料 458千円 ・工事請負費 墳丘樹木伐採工事、作業道養生工事 1,296千円 周濠部分小屋解体撤去工事 940千円</p>					
主な財源	国 宝重要文化財等保存整備補助金(1/2)					
5,140千円						
成果・課題	○前方部の墳丘段差をラスの調査により、後世の削平の進む前方部のデータを取得、墳丘長などの正確な復元が可能となった。 ○史跡整備検討委員会の指導を受け、史跡整備に必要な基本設計ができた。 ○本格的な整備工事は次年度以降に実施する予定であるが、樹木伐採工事の一部を先行して実施することにより、生態系の維持を図りつつ視覚的に古墳を認識することができるようになった。					
所管課	教育委員会事務局/文化財保護課					

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	06遺跡発掘調査等事業	決算書	P.152						
細事業名	01 遺跡発掘調査等事業											
総合計画	計画項目	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進										
決算	額	① 最終予算額	② 不用額	③ 執行率	(参考) 当初予算額							
	3,501千円	7,766千円	4,265千円	45.0%	3,273千円							
目的	発掘調査等により、市内の遺跡を効果的に保護するための資料を得るとともに、開発等により現地保存の困難な遺跡の記録保存を図り、文化財の保護・活用につなげる。											
主要な事務・事業の概要	<p>網野銚子山古墳整備に先立って発掘調査を実施するとともに、墳丘部分の地中深層を大学に依頼し実施した。併せて埋没した地中深層では、後田部の埋没施設の位置を推測することができ、初めて埋没施設の保護を図るための検討材料を得た。</p> <p>○網野銚子山古墳発掘調査          ・現地調査期間 平成29年6月4日～8月10日 2,278千円          ・調査成果 古墳の前方部の墳丘橋の位置を推測できる遺構を検出。          調査補助員賃金、共済費 1,115千円 作業員派遣委託料 679千円          需用費等 プルーフシート、写真現像経費等 240千円          使用料及び賃借料 重機借上、トイレ借上等 244千円</p> <p>○網野銚子山古墳地中深層調査(天理大学考古学研究室に委託)          ・現地調査期間 平成29年9月11日～9月14日 723千円          ・調査成果 後田部墳頂部において、埋葬施設の位置を推測するデータを得た。          報償費 原稿作成謝金(5人) 120千円          費用弁償 調査参加者(15人) 603千円</p> <p>○女布遺跡発掘調査(試掘調査)          ・現地調査期間 平成29年10月16日～10月26日 500千円          ・調査成果 16か所のグリッド調査を行い、湿地状堆積と護岸状遺構を検出。          委託料 作業員派遣委託料 117千円 発掘調査補助員賃金 13千円          需用費 報告書印刷経費等 87千円          使用料及び賃借料 重機借上、トイレ借上等 283千円</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>参考</td> <td>繰越明許費を除いた最終予算額</td> <td>3,572千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実質的な予算執行率</td> <td>98.0%</td> </tr> </table> <p>■平成30年度への繰越事業          途中ヶ丘遺跡発掘調査事業 平成30年6月完成          国補 国宝重要文化財等保存整備費補助金(1/2) 1,500千円          府補 埋蔵文化財緊急発掘調査費補助金(1/4) 750千円</p>						参考	繰越明許費を除いた最終予算額	3,572千円		実質的な予算執行率	98.0%
参考	繰越明許費を除いた最終予算額	3,572千円										
	実質的な予算執行率	98.0%										
主な財源	<p>使用料 網野銚子山古墳整備費(資料館再配置経費)</p> <p>国補 1,500千円          府補 750千円</p>											
成果・課題	<p>○網野銚子山古墳の発掘調査では、墳丘の調査により損傷の激しい前方部の復元を行うための良好な資料を得た。併せて実施した地中深層では、後田部の埋没施設の位置を推測することができ、初めて埋没施設の保護を図るための検討材料を得た。</p> <p>○女布遺跡発掘調査では、平成30年度以降のほ場整備事業との調整を行う基礎資料を得ることができた。</p>											
所管課	教育委員会事務局/文化財保護課											

予算科目	10教育費	05社会教育費	04資料館費	01郷土資料館管理運営事業	決算書	P.150
細事業名	01 郷土資料館管理運営事業					
総合計画	計画項目	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進				
決算	額	① 最終予算額	② 不用額	③ 執行率	(参考) 当初予算額	
	9,701千円	9,889千円	188千円	98.0%	7,286千円	
目的	民泊資料の調査保存、公開施設である資料館の維持管理を行い、郷土の歴史や文化遺産に対する住民の関心を高める。					
主要な事務・事業の概要	<p>豊富に残る市所蔵や寄贈を受けた民俗資料を適切に保管・公開するとともに、網野郷土資料館の老朽化に伴い、旧郷小学校校舎へ民俗資料を移転した。移転に際し、資料の整理運搬作業及び資料館利用に向けた旧郷小学校の整備工事を行った。</p> <p>平成29年度入館者数(7月末で休館) 285人(平成28年度入館者数 713人)</p> <p>○人件費(臨時職員2人分の賃金と労災保険料) 1,031千円          ○郷小学校活用検討委員会謝金、費用弁償 33千円          ○維持管理経費 536千円          ・燃料費 12千円          ・光熱水費 105千円          ・修繕料 178千円          ・電話料 66千円          ・保険料 38千円          ・機械整備委託料(平成29年12月末まで) 112千円          ・コピー機借上料 10千円          ・テレビ受信料 15千円</p> <p>○網野郷土資料館の移転関係経費 8,101千円          ・消耗品費(維持管理経費含む) 561千円          ・建築確認手数料(旧郷小学校改修関係)等 154千円          ・工事設計委託料(旧郷小学校改修関係) 486千円          ・工事請負費(旧郷小学校改修関係) 4,027千円          ・資料等移設運搬費用 2,031千円          ・移転に伴う備品購入費用 842千円</p>					
主な財源	<p>使用料 郷土資料館入館料</p> <p>府補 11千円          未来づくり交付金(資料館再配置経費) 388千円</p>					
成果・課題	<p>○旧郷小学校を資料館として利用するため必要な諸手続き及び改修工事を行い、網野郷土資料館から旧郷小学校校舎へ資料等の移転を行った。</p> <p>○市内小中学生の社会科見学を受け入れを行い、実物に触れさせるなどさまざまな工夫を行うことで学習効果の向上につなげた。</p> <p>○移転後の資料館について市内外に向けて周知広報を行うとともに、展示内容の充実を努め、入館者の増加を図る必要がある。</p>					
所管課	教育委員会事務局/文化財保護課					

予算科目	10教育費	05社会教育費	04資料館費	02古代の里資料館管理運営事業	決算書	P.150
細事業名	01 古代の里資料館管理運営事業					
総合計画	計画項目	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進				
決算額	① 最終予算額	② 不用額	③-① 執行率	(参考) 当初予算額		
8,736千円	9,059千円	323千円	96.4%	9,321千円		
目的	郷土の文化遺産に関しての住民の関心を高め、教育、文化にふれあい、歴史を学ぶ機会を提供する。					
主要な事務・事業の概要	<p>市所蔵考古資料・美術工芸品を適切に保管・公開し、文化財の保護、普及啓発を図るため夏休みの市内小学生入館無料、「丹後ちりめんと峯山藩」、「大宮売神社〜古代祭祀とその後の展開〜」と題した特別展示等を開催するとともに、丹後古代の里資料館の維持管理運営を行った。</p> <p>平成29年度入館者数 3,491人（平成28年度入館者数 3,735人）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○人件費 <ul style="list-style-type: none"> <li>資料館長報酬、共済費、費用弁償 5,672千円</li> <li>資料館長報酬 2,636千円</li> <li>臨時職員賃金、共済費 3,036千円</li> </ul> </li> <li>○維持管理経費 <ul style="list-style-type: none"> <li>臨時職員3人分の賃金と労災保険料、雇用保険料、社会保険料事業主負担 2,996千円</li> <li>光熱水費 1,217千円</li> <li>消耗品等（燃料費、印刷製本費） 434千円</li> <li>通信運搬費等役務費 157千円</li> <li>機械整備委託料 99千円</li> <li>施設管理委託料（浄化槽維持管理、電気設備保守管理） 454千円</li> <li>土地借上料（2,915㎡） 304千円</li> <li>修繕料（事務室空調設備等） 196千円</li> <li>保険料（火災保険） 27千円</li> <li>その他管理経費（清掃用具借上・コピー機リース等） 108千円</li> </ul> </li> <li>○体験用経費 <ul style="list-style-type: none"> <li>原材料費（勾玉作り材料及び陶芸体験用材料） 68千円</li> <li>報償費（窯焼謝礼） 33千円</li> <li>35千円</li> </ul> </li> </ul>					
主な財源	使用料			512千円		
	諸収入			18千円		
	諸収入			105千円		
	諸収入			251千円		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○考古・歴史資料を紹介する特別展等を開催し、文化財の普及啓発を図った。</li> <li>○小中学校の地域学習施設として活用することで、市内小中学生に対して市内の歴史に関する知識を築き、関心を高めることができた。今後もより一層、小中学校の地域学習への活用を図っていく必要がある。</li> <li>○開館から20年以上経過しているため、屋内外の設備更新及び屋外施設（竪穴式住居等）の修繕等が今後の検討課題である。</li> </ul>					
所管課	教育委員会事務局／文化財保護課					

予算科目	10教育費	05社会教育費	04資料館費	03資料館等指定管理運営事業	決算書	P.150
細事業名	01 指定管理施設運営事業					
総合計画	計画項目	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進				
決算額	① 最終予算額	② 不用額	③-① 執行率	(参考) 当初予算額		
8,346千円	8,346千円	0千円	100.0%	8,346千円		
目的	琴引浜鳴き砂文化館の適正な管理運営を行い、琴引浜の鳴き砂の保全及び保護啓発活動、自然環境学習の援助並びに促進を図る。					
主要な事務・事業の概要	<p>鳴き砂や環境保全の学習施設として、指定管理制度により、掛浜区が管理運営を行っている。教育施設の性格を持つとともに、山陰海岸ジオパークを紹介する展示を行うなど観光施設としても重要な拠点となっている。</p> <p>平成29年度入館者数 11,705人（平成28年度入館者数 9,779人）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○委託料 <ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者の管理運営に伴う管理委託料 7,100千円</li> </ul> </li> <li>○使用料及び賃借料 <ul style="list-style-type: none"> <li>建物の所有者である財団法人日本ナショナルトラストへの建物賃借料及び駐車場用地賃借料 1,246千円</li> </ul> </li> </ul>					
主な財源						
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各種の展示事業や、琴引浜のガイドワークにも取り組み、観光業者との連携など積極的な管理運営に努めた。各種視察受け入れやジオパーク関連事業、ガイド事業への支援・協力などを行い、京丹後市を代表する自然系の展示施設としての役割を果たした。</li> <li>○リピーターを含む市内外の利用者獲得へ向け、展示内容のリニューアル等の検討を進めるほか、施設修繕など市の施設として適正な運営に努める必要がある。</li> </ul>					
所管課	教育委員会事務局／文化財保護課					

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	01文化財保護審議会委員設置事業	決算書 P.152
細事業名	01文化財保護審議会委員設置事業				
総合計画	計画項目 28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進				
決算	① 最終予算額	② 不用額	③-① 執行率	(参考) 当初予算額	
	219千円	346千円	127千円	63.2%	346千円
目的	文化財の指定解除等の諮問機関である文化財保護審議会で、文化財の保全及び活用について調査・審議を行うことで、市の文化財の保全や活用に資する。				
主要な事務・事業の概要	<p>○文化財保護審議会の開催経費 107千円</p> <p>市文化財の指定・管理等に関する事項や文化財関係事業、文化財保護普及啓発等を検討するため審議会を開催した。また、文化財2件の指定について審議を行い、答申を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・報酬 半日×4回(4千円×23人) 92千円</li> <li>・費用弁償 15千円</li> </ul> <p>○両丹文化財保護連絡協議会の開催経費 93千円</p> <p>平成29年度は京丹後市が当番であり、平成29年11月24日に京丹後市丹後庁舎で開催した。6つの市町の文化財保護審議会委員や関係者を含め35人が参加し、資料館施設の管理・活用と今後の資料管理をテーマに研修・交流を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・報酬(7千円×7人) 49千円</li> <li>・費用弁償 4千円</li> <li>・講師(1人)謝金、昼食代等 40千円</li> </ul> <p>○文化財保護審議会委員視察研修費 19千円</p> <p>京丹後市の文化財行政に活かすため、綾部市のグンゼ記念館、資料館の視察、国宝光明寺に王門修理プロジェクトの聞き取りと現場見学を行った。</p> <p>平成29年11月1日(綾部市)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・費用弁償(7人) 16千円</li> <li>・その他経費(有料道路通行料、職員旅費) 3千円</li> </ul>				
主な財源					
成果・課題	<p>○両丹文化財保護連絡協議会を開催し、各市町間において意見交流を行うことにより研鑽を積み重ねることができた。</p> <p>○委員視察研修では、国宝建造物の修理現場の見学と、修理資金集め等の取組について視察を行い、今後の文化財行政への活用を検討することができた。</p>				
所管課	教育委員会事務局/文化財保護課				

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	50文化財保護一般経費	決算書 P.152
細事業名	01文化財保護一般経費				
総合計画	計画項目 28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進				
決算	① 最終予算額	② 不用額	③-① 執行率	(参考) 当初予算額	
	345千円	535千円	190千円	64.4%	535千円
目的	文化財保管施設の維持管理及び各種文化財保護関係団体の活動を推進し、文化財の保護と活用を図る。				
主要な事務・事業の概要	<p>○文化財関係加盟団体経費 70千円</p> <p>京丹後市が加盟する文化財関係団体負担金等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国史跡整備市町村協議会 40千円</li> <li>・全史協近畿地区協議会 10千円</li> <li>・全国鳴き砂ネットワーク 20千円</li> </ul> <p>○文化財収蔵施設維持管理費 177千円</p> <p>資料館以外で所管している文化財収蔵施設に係る維持管理費(成路分校、十楽倉庫、旧三重保育所、丹後震災記念館)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・光熱水費(水道閉栓手数料含) 59千円</li> <li>・電話料・火災保険料 81千円</li> <li>・機械整備委託料・草刈委託料 37千円</li> </ul> <p>○一般事務経費 98千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消耗品費 23千円</li> <li>・旅費(史跡整備市町村協議会会議出席等) 75千円</li> </ul>				
主な財源					
成果・課題	文化財保護事務及び所管施設の維持管理を適切に実施し、文化財の保護と活用を図ることができた。				
所管課	教育委員会事務局/文化財保護課				